



# 月2回のお米

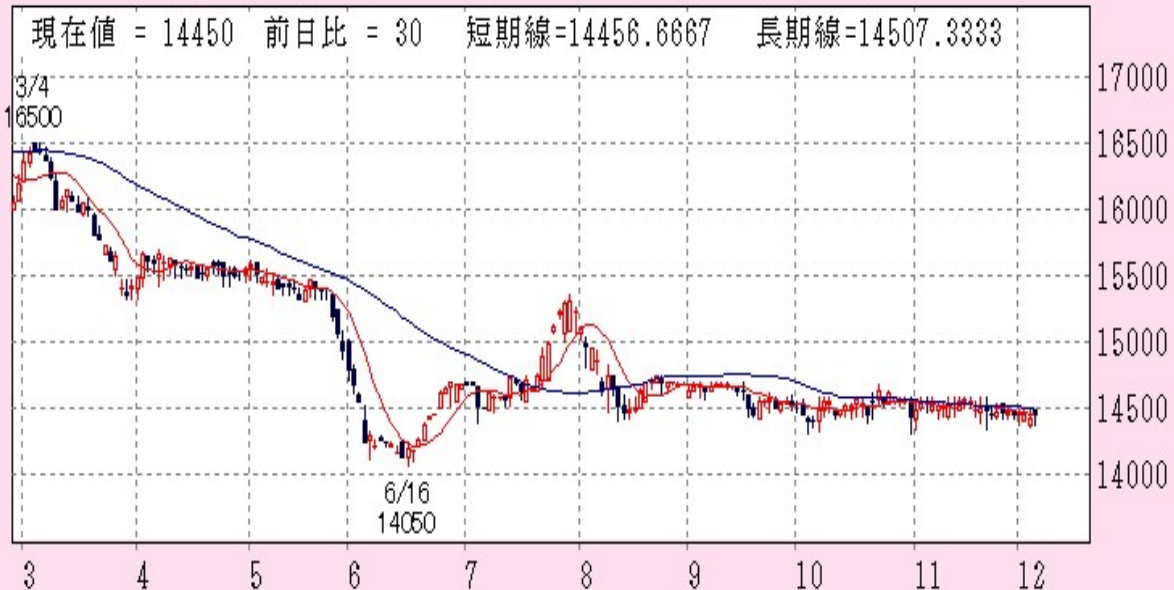


コメ市場に関する情報がここに凝縮されています。  
毎月第2・第4木曜日 夕方発行

新潟コシヒカリ

発行日 : 2020/12/7

新潟コシ [日足] 移動平均線(9,45) 200227 - 201204



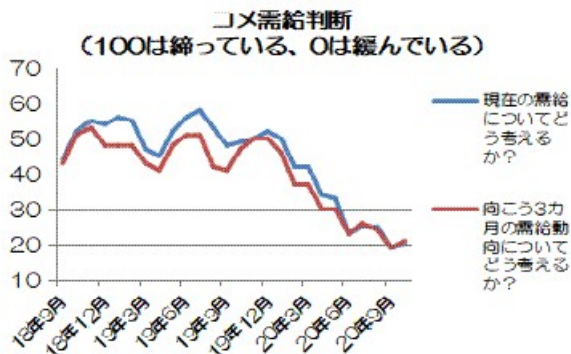
## TOPICS 7月の米価水準判断DIが5年2カ月ぶりの低水準

農林水産省が11月5日に公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」によると、2019/20年の米需要を714.4万トンになると見通した。需要の算出方法は、令和元年産主食用米等生産量726万トンに令和元年6月末民間在庫量189万トンを足し、そこから令和2年6月末民間在庫量200万トンを差し引いた数量となっている。  
さらに、2020/21年は716万トン、2021/22年は705万トンと予測した。

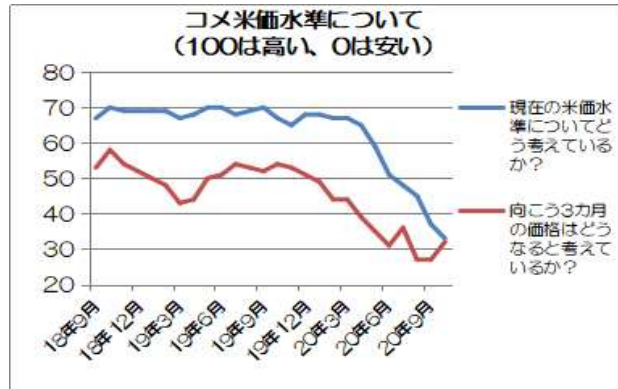
2020/21年の主食用米等の需要量の見通しは、算出された716万トンから新型コロナウイルス感染症の影響等の特別な要因による需要減少量（推計値）5万トンを差し引いた711万トンから、716万トンまでの5万トンの幅をもって設定した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響等の特別な要因による需要減少量（推計値）5万トンの考え方は、新型コロナウイルス感染症の影響等による需要減少（ $(a - b) \times 1/2 = 5.2$ 万トン（令和2/3年後半の需要回復を想定し、1/2を乗じている）、令和2年6～8月期の需要減少量平均1.4万トン×12カ月＝16.3万トン、毎年の需要減少量傾向値10万トン×（市場流通量427万トン/主食用米等生産量726万トン）＝5.9万トンとした。

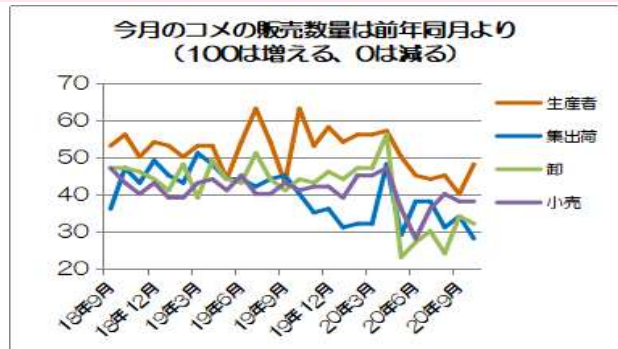
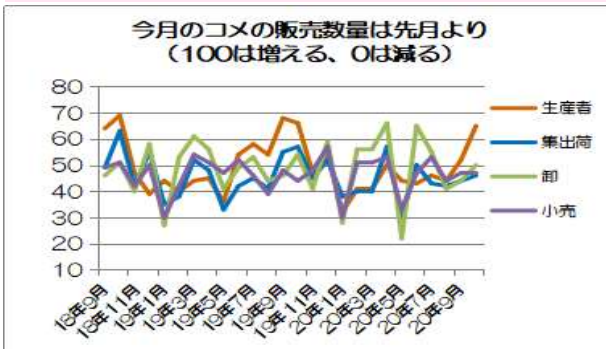
コメの需給は緩んでいる 3ヵ月後も緩い



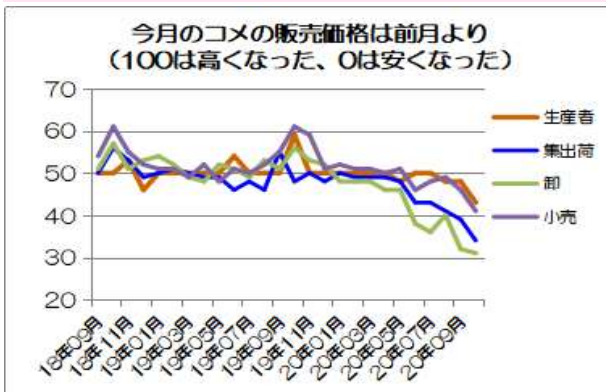
コメの価格は安い、また3ヵ月後も安くなる



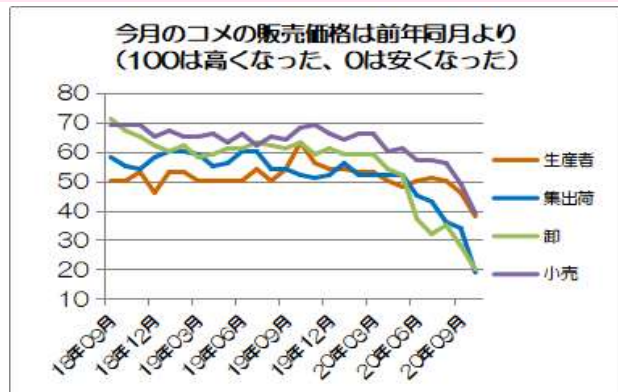
10月のコメの販売数量は9月と同じか増加(生産者) 10月のコメの販売数量は昨年10月より少ない



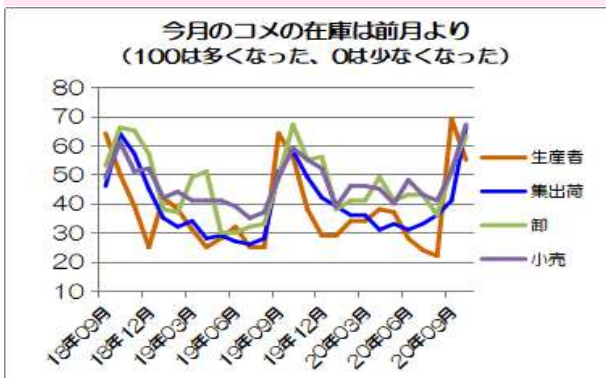
コメの10月の販売価格は9月より安くなった



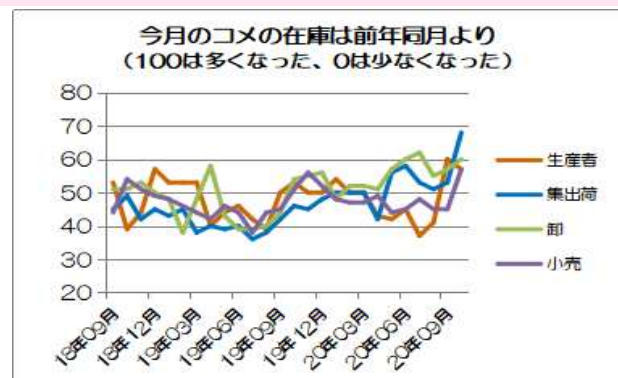
コメの10月の価格は昨年より安い



10月のコメの在庫は9月より多い



10月のコメの在庫は昨年より多い



TOPICs 10月のコメ相対取引価格、前年比4%安 by 日本経済新聞社 11月19日

農林水産省が発表した2020年産米の相対取引価格（卸値、10月時点、速報）は全銘柄の加重平均が前年同月（19年産）比4%安い1俵（60キログラム）1万5065円だった。新潟産コシヒカリ（一般）が4%安の1万6713円、秋田産あきたこまちが5%安の1万5035円と、主要銘柄が軒並み値下がりした。茨城産コシヒカリ（11%安）や福島・中通り産コシヒカリ（11%安）など大幅に安くなった銘柄もある。一方、北海道産ゆめぴりかは2%高の1万7479円だった。9月から新米に切り替わったが、新型コロナウイルスの影響などで需給は緩い。10月の全銘柄平均は9月に比べ1%下がった。

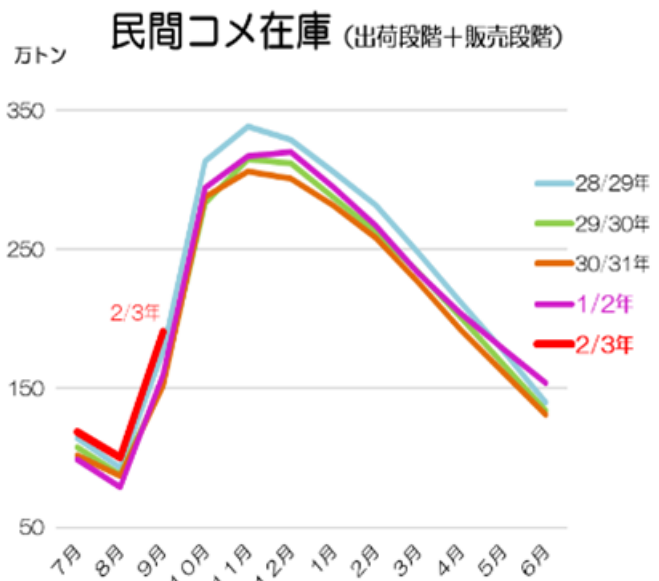
コメの相対取引価格の推移（出荷業者の全銘柄平均価格）



TOPIC 民間コメ在庫は多い

農林水産省がまとめた9月の「民間コメ在庫（出荷及び販売段階における民間在庫）」は、191万トンで、前年同月比31万トンのプラスとなった。

過去5年間の平均166万トンとの比較では25万トンのプラス。2020/21年度に入ってから前年同期比を上回る水準で推移している。

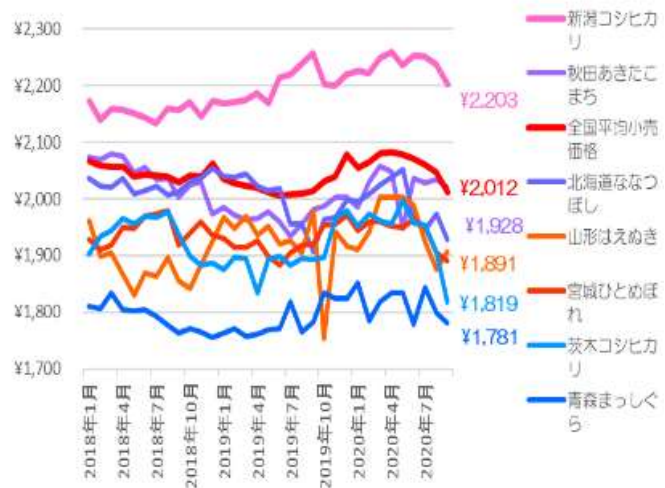


### TOPICs 小売り価格は▲676円安

農林水産省がまとめた9月の「5kg入りコメ小売価格の全国平均価格」は、1万5143円となり、前月の1万5531円から676円下落した。

前年比でも423円安い水準となった。ただし、過去5年間との比較では217円上回っている。過去3年間との比較では、グラフの推移が示すとおり、急激な値下がりです。2020年産は始まった。

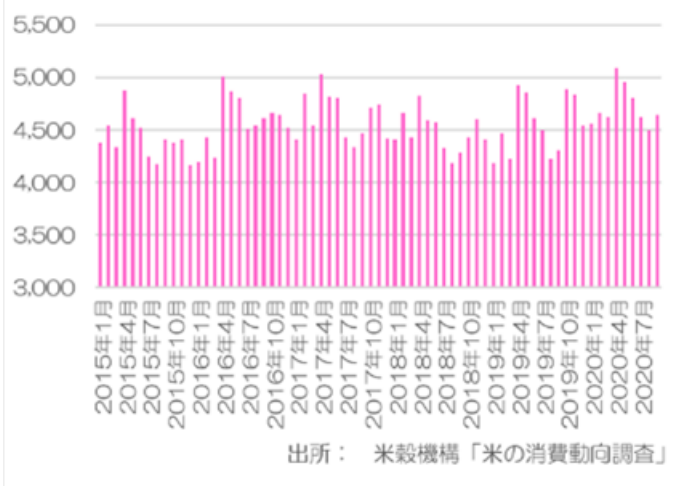
5kg入り銘柄別コメ価格



### TOPICs 1人1ヵ月当たり消費量は18ヵ月連続の前年比プラス

農林水産省がまとめた9月の「米の1人1ヵ月当たり消費量の推移」は、4643グラムで、前年同月比338グラム、7.9%の増加となった。これで前年同月比は、2019年4月から、18ヵ月連続のプラスを記録した。

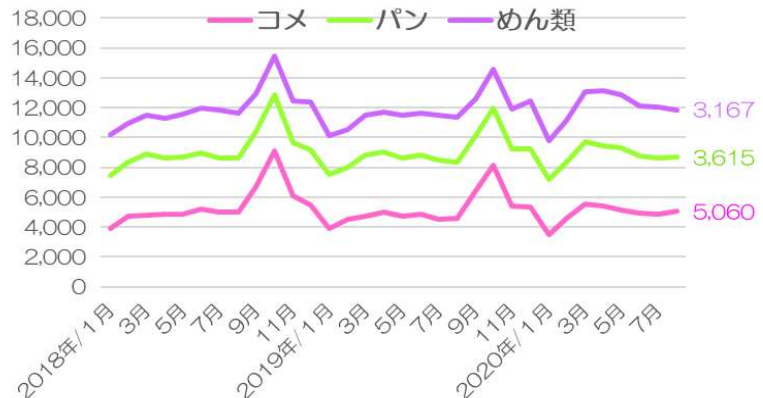
精米グラム コメの一人1ヵ月当たり消費量



### TOPICs 「コメ・パン・めん類の購入数量」のうちコメは前年同月比7ヵ月連続のプラス

農林水産省がまとめた「コメ・パン・めん類の月当りの購入数量」によると、8月は、コメが5060グラムで、前年比10%の増加となった。パンは同5%のマイナス。めん類は6%の増加。コメの前月比はこの月を含め7ヵ月連続のプラスとなった。

グラム コメ・パン・麺類の消費量推移



出所：農林水産省 家計調査

## TOPICS ウンカ猛威、稲作に打撃 24府県が警報や注意報 11月28日 日本経済新

稲の養分を吸い取る害虫「トビイロウンカ」が猛威を振るい、西日本を中心に打撃をもたらしている。今年警報や注意報を出したのは24府県（10月時点）に上り、特に九州は2年連続の「不良」となった。専門家は早めの防除や品種の分散などの対策が重要と呼び掛けている。

トビイロウンカ=農研機構提供・共同

「玄米に色つやがなく、流通できないものが多い」。大分県日田市の農家、飯田隆さん（64）は10月に刈り取りを終えたコメの出来栄を見て落胆した。大分県は10月末発表のコメの作況指数が九州で最低だった。飯田さんは周辺の農家から脱穀作業を請け負うが、依頼は例年の6割程度にとどまる。

大分県国東市で「トビイロウンカ」の被害を受けた田んぼ（9月）=同県提供・共同

トビイロウンカは梅雨に中国大陸から飛来し、増殖を繰り返す。大分県農業協同組合（JAおおいた）の日田支店によると、ウンカが例年より早く発生したことで



大分県では、栽培されている主食用コメのうち約75%が「ヒノヒカリ」。県の担当者は「品種が偏り、リスクが分散できていない」と分析。県は今後、他品種の導入促進も含め対策を検討する。

農林水産省によると、2020年産の全国の作況指数は、10月調査では「平年並み」だった。米どころの北海道や東北、北陸で生育が順調なためだが、西日本は様相が異なる。九州はトビイロウンカの被害が広がった19年に続く「不良」。特に大分、福岡、佐賀の3県で不振だった。

作況指数が全国で最低だったのは山口県で、長門市では作付面積約1500ヘクタールのうち少なくとも約300ヘクタールで被害を把握。地元農協は10月下旬、経営難に陥っている農家への支援を市に要請した。

このほか、京都府でも一部の地域で33年ぶりにトビイロウンカに対する警報が出た。

農水省によると、今年は大陸からのトビイロウンカの飛来が多かったうえ、高温少雨という繁殖に適した気象が重なり大量発生につながったという。

コメは新型コロナウイルスの影響もあり飲食店などの需要が低下し、価格の下落傾向が続く。九州の農業関係者からは「営農を続けるには厳しい状況」との声も上がる。

農業・食品産業技術総合研究機構の真田幸代虫害グループ長は「長期的にみて国内でのトビイロウンカの発生は増加傾向にある」と指摘。苗を育てる早めの段階で予防的に薬剤を使うことで被害を抑えられると話した。〔共同〕

### 今後の予想

大阪堂島商品取引所の新潟コシヒカリの価格は14500円を下回ったところで横ばいとなっている。新型コロナウイルスの影響で飲食店向けのコメの需要が減少していると思われるが、農林水産省の家計調査では8月までの7か月連続でコメの消費量は若干ながら増えている。しかし、銘柄別5キロ入りコメの価格は下落しており、需給DIでもコメ価格は下落しているとの感触である。収穫が終わった段階であるので、コメの在庫は潤沢で、需給要因ではコメの値上がりは見込めない。概して横這いと考えてのが妥当であろう。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMI」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMIは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMIおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いします。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス  
〒180-0012 東京都三鷹市上連雀1-1-5 三鷹ロイヤルハイツ706号  
電話：090-1628-0583 メールアドレス：kondo@commi.cc